



がん患者の生きる力を引き出す 東洋における医療文化の魅力



がん医療の現場で、がん患者が持つ生命力や回復力を引き出すために、通常の診療枠に一步踏み込んだ形で取り入れている医療活動について、東南アジアの医療文化に焦点を当てて、3名のシンポジストを交えて語り合います。

HU氏は台湾で緩和医療の研究や教育に携わっており、SO氏は東洋医学の視点を取り入れた症状管理の研究をされています。宮坂氏は漢方サポートセンターで日々がん患者の方々に看護ケアを提供されています。

パンデミックの成り行きが不透明な一方、急速に診断・治療技術が進化する現代において、東洋の伝統的な医療文化ががん患者やがん医療にもたらす効用とその障壁について幅広い視点から知り、その中でがん看護が果たすべき役割について討議したいと思います。



◆ 日時 ◆ 2023年2月25日(土) 15:20 ~ 16:20

◆ 会場 ◆ 第7会場 (パシフィコ横浜 ノース G404)

◆ シンポジスト ◆ Dr. Wenyu HU
(Professor, Chair, School of Nursing, National Taiwan University)

Dr. Winnie KW SO
(Professor, Chinese University of Hong Kong;
President, International Society of Nurses in Cancer Care)

宮坂 文緒氏
(神奈川県立がんセンター 漢方サポートセンター 看護師)

◆ 座長 ◆ 水野 道代 (筑波大学)、鈴木 美穂 (慶応義塾大学)